

事務事業名		AED普及推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課
	政策	1 健康で安心して暮らせるまちづくり					担当係	地域医療係	担当課長名	川島紀昭	
	施策	2 地域医療体制の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 救急・高度医療体制の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	6904	一般	4	1	1	AED普及推進事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H24年度～H28年度		根拠法令 条例等	実施方法		直営			
	事業区分		事業分類		その他市民に対する事業		リーディングプロジェクト		該当なし		
	事業区分		市長マニフェスト		1-8						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
現在、我が国では病院以外で人が突然の心肺停止で亡くなっているケースが交通事故死の約4倍にもなっている。心臓発作などによる心肺停止に対する救命処置としては、心肺蘇生法に併せてAEDの効果的な活用が有効と言われており、平成16年7月より一般人でもAEDを使用できるようになり、心肺停止に対する心肺蘇生法に併せた活用で多くの救命実績が報告されている。 このような状況において、本市では市民が市民を救う基本的な理念として、また心肺停止者の救命率の向上を図ることで市民が安心して暮らせるまちづくりを目指すため、「佐野市AED普及推進計画」を策定し、市内のAED設置数及び救命講習会の受講者数の充実を図っていく。			・設置にあたり、実勢価格調査、入札、契約等の事務を行った。 ・コンビニエンスストア6台、町会2台、市有バス3台、健康増進課貸出用4台を設置した。 ・AED販売業者に、新たにAEDを設置した事業所に市のホームページに掲載する依頼文書を渡してもらおうよう、協力依頼した。							
			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
市内AED設置数(健康増進課把握数)			台	235	256	270				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市民			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
市人口			人	123,182	122,582	121,522				
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
市民が市民を救う基本的な理念として健康に対する知識の普及を図り、更に健康意識の向上を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
健康教室・健康相談等参加延べ人数			人	3,817	3,355	3,900				
佐野市消防本部主催普通救命講習会実施数(年間)			回	144	133	144				
佐野市消防本部主催普通救命講習会参加人数(年間)			人	4,178	3,096	4,178				
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
市民が緊急時に安心して適切な医療が受けられる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
市内の医療体制に満足している市民の割合(市政に関するアンケート)			%	58.9	59.0	61.0	62.0	63.0		

事業費 投入量	財源内訳		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円		216	678	750				
	事業費計(A)	千円		216	678	750	0	0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			使用料及び賃借料	216	使用料及び賃借料	678	使用料及び賃借料	750		
	人件費	人		3	3	3				
のべ業務時間	時間		320	320	320					
人件費計(B)	千円		1,245	1,261	1,261	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円		1,461	1,939	2,011	0	0			

事務事業名	AED普及推進事業	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課	担当係	地域医療係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成22年9月議会において、議員よりAED設置の促進、救命講習会の普及啓発などの要望等が出されたことがきっかけとなった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	AEDについては、市内の設置件数も徐々に増えて来ており、今後も増加していく傾向であると思われる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議会では平成17年12月から27年2月までの間に13回の一般質問等があり、AED設置の促進、救命講習会の普及啓発などの要望等が出されている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	AED設置を希望する整備対象地域内の町会及びコンビニにAEDを設置した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	AEDの設置並びに心肺蘇生法及びAEDの使用法を含む救命講習会を推進し充実を図ること、地域医療体制の充実に結びつく。	
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	救急時における市民の医療不安の解消と地域医療体制の充実を図ることは、市民が安心して暮らしていくために必要であり、市の責務であり妥当である。	
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	市民が市民を救うことを基本的な理念とするということは、AEDで救われる対象は市民であるが、救う人も市民である。つまり、AEDの使用法や心肺蘇生法なども当然のごとく身に付けていただくことが、市民一人ひとりが健康に対する正しい知識の普及と健康意識の向上を図ることに繋がると考える。	
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	この事業の本来の目的は、AED設置の推進と正しい救命処置の習得である。AEDの設置については、全市民が心肺停止時にAEDを効果的に活用できる範囲での設置は、現実的に困難である。そのため、救命率の向上を図るうえで、市民のかたに心肺蘇生法を習得してもらうことが有効と考える。	
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名		
	類似事務事業はない	理由・改善案		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	平成25年度において12台、平成26年度において15台のAEDの借上げ料(長期契約)であり、削減余地はない。	
	削減の余地はない			
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	受益者は心肺停止者であるが、市民がいざというときに、必要な救命処置を取られることが安心な医療を受けることに繋がり、その体制を充実させることが市の責務と考えるので受益者負担を求めるのは適当でない。	
	受益者負担を求める必要がない			
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	AEDの適正な設置の推進と、多くの市民のかたに心肺蘇生法を習得してもらうことが出来たとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 救命率の向上を図るうえで、市民の方に心肺蘇生法を習得してもらう。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○		維持		×	低下	×	×	救命講習会に多くの市民が参加してもらえるようPRを図る。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	○																		
	維持		×																	
	低下	×	×																	